

患者さんに
役立つちょっと
いい話

相澤病院 医療連携 かわら版

2022.10 NO.17



今年10月から稼働した手術支援ロボット「ダビンチ」と当院のがん治療についてご案内します。

2022年10月より手術支援ロボット「ダビンチ」での治療を開始しました！

当院では患者さんに安全で身体への負担の少ないロボット支援下手術(ダビンチ手術)を開始しました。

従来の身体を切る手術に比べ、傷も小さいため負担も小さく、入院期間も短くて済みます。まずは前立腺癌の治療から開始となりましたが、前立腺癌の手術では、お腹の複数に1cm~2cm程度の傷からロボットの鉗子を入れ手術を行います。これにより手の動きより細かい動きが可能となります。



相澤病院のがん治療



がんの病状説明を受けた方に示される治療方法は、当院では「手術療法」「薬物療法」「放射線療法」の3種類があり患者さんの状態に合わせて選択をしています。日本では、これまで手術ががん治療の中心にありましたが、近年は薬物療法や放射線療法が進歩し、がんの種類やステージ(病期)によっては手術と変わらない効果が認められています。

様々な検査を行いながら、“どの治療方法がその人のがんにもっとも効果を期待できるか”を、医師は探っていきます。検査結果に加え、その人の年齢や性別、環境や希望なども考慮して総合的に判断し、治療方法が提案されます。当院では様々な診療科の医師達が話し合い、患者さんにとって最適な治療方法を検討しています(カンサーボード)。また、がん集学治療センターが中心となり、2つ以上の治療を組み合わせる(集学的治療)も行っております。

高度な医療をお住まいの近くで、安心して受けられるように・・・

がんに対する手術実績

治すだけの手術だけでなく、機能温存、患者さんの生活や希望に配慮した治療をおこなっています。大腸がんや胃がん、食道がんに対する腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術を積極的におこなっています。

手術部位	2019年	2020年	2021年
食道がん	1 (1)	8 (8)	2 (2)
胃がん	56 (10)	67 (29)	60 (37)
大腸がん	135 (100)	152 (117)	109 (79)
結腸がん	91 (58)	106 (75)	76 (49)
直腸がん	44 (42)	46 (42)	33 (30)
肝胆膵がん	43 (2)	51 (1)	40 (5)
肝臓がん	12 (2)	19 (1)	15 (2)
膵・胆道がん	31	32	25 (3)
肺がん	65 (55)	59 (49)	54 (47)
乳がん	80	80	93
甲状腺がん	13	10	13

ガンマナイフ(放射線治療)

ガンマナイフ ICON では、放射線を多方向から高い精度で集中的に照射し、頭を切らずに脳病変もしくは機能的脳疾患を治療します。1回の治療で複数の病巣を照射するなど、広い治療適応があります。



PET検査

PET 検査は体の働きや代謝を画像化します。FDG-PET/CT では他の画像では認識しにくいがんの病巣を全身から見つけ出します。

早期発見(相澤健康センター)

「3D マンモグラフィ検査(乳がん健診)」をはじめとした、最新の検査機器、充実したオプションでがんの早期発見に努めています。

陽子線治療

世界初の上配置式陽子線治療施設。精密な治療を可能にする高度な装置を揃え、複雑な形状のがんにも対応しています。



トモセラピー(放射線治療)

トモセラピーは CT の技術を応用し、360 度あらゆる方向から放射線量を調整しながら照射します。病巣への集中制を高めるために、照射する部位の照準を治療のたびに合わせ、周辺にある正常組織へのダメージを減らします。



化学療法

抗がん剤と聞くと、副作用(有害事象)など怖いイメージを持たれるかもしれませんが、現代ではそのような副作用を抑えるための薬も多く開発されています。また、遺伝子の型や細胞の種類など、薬剤選択の指標(バイオマーカー)によって、よりよい薬剤を選ぶことができるようになりました。さらに、薬剤師や看護師とのチームで副作用を抑えながら治療をおこなうことで、生活の質を下げることなく治療効果が期待できるようになっています。このように、がん化学療法は日々進化しているのです。